

加茂中だより

回覧

令和6年3月22日

第11号

○3学期終業式～校長講話より～

校長 井狩 歩

先日、新潟中央短期大学長であり、加茂暁星高等学校長の草間先生を講師に、2回目の生き方講演会がありました。会場を新潟経営大学大講義室とし、階段教室で大学の講義のような雰囲気も少し感じられたのではないのでしょうか。

今回の講演は「人間関係づくり」についてでした。縄文時代に我々の祖先は、遊動的な生活から定住の集団生活に変わり、快適に効率的に暮らす工夫として一定のルールや決まりを作り、協同で作業したり助け合いが行われたりするようになりました。集団生活の中で、ルールをつくりそれを守ること、一人で困難なことを協同で助け合うことは、現代でも同じです。

集団をつくる個々の人間はどんな人なのか。みんないい人なのか悪い人なのか。親切な人なのか不親切な人なのか。みんな同じ人ではなく、時と場合によって様々な面を、多様性もっています。そして冷静に自分を考えれば、自分は自分なのに、時として親切な自分と不親切な自分、強い自分と弱い自分、その時その時で様々な自分・矛盾する自分があります。社会では、自分を含めて多様な人々が快適に生活するために、一定のルールや決まり、掟や法律が必要であり、ガマンして守らなければ、守ろうとしなければならないのです。

多様な人々が集団で生活するクラス、学校、社会でどう生きるべきか。3つのことが大事になります。

- ①自分のことをしっかり知る。
- ②思ったことをすぐに言わずに、ちょっと考える。
- ③言葉をみがく(＝心をみがく)。

草間先生から心に残るたくさんの言葉をいただきました。未来をつくる存在である皆さんには、「これからがこれまでを決める」という言葉も大事にして欲しいです。

生徒の感想を紹介します。

○今日の講義を聴いて、学力も大事だけど仕事ができる人の方が大切だということが分かりました。

○自分は自分、自分を大切にするという言葉が心に残りました。私は上手くいかない自分や後悔している自分が嫌いでした。でも、すべて自分で、そういう自分を大切にしようと思うことができました。

○言葉は簡単に人を傷つけてしまうということがよく分かりました。相手のことを考えた発言をするように心がけたいです。

先入観にとらわれず、レッテルを貼らず物事を自由に考える。当たり前前のことでも、何か1つでも新しい発見を心がけるなど、“Don't sleep through life.”「ボーッと生きてんじゃねーよ」と考えることを大切にしてください。

4月から令和6年度が始まります。新入生を迎えて、皆さんは1つずつ進級します。来年度は、生徒一人一人が「どう生きるか」目指す姿を意識して、日々の生活、授業、友人つきあいなど「どうあるべきか」を考えてながら実践することを目指したいと思います。

今日で、令和5年度の授業は終了です。元気な姿で、4月8日の始業式に皆さんと会いたいと思います。



3月13日実施 生き方講演会より

<学校HPもご覧ください！>

日々の様子をHPで紹介しています。また、月歴・給食だよりなどを掲載しています。どうぞご覧ください。

<https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1520023>



【春休み期間中の緊急連絡について】

春休み期間中、事故などで学校へ緊急連絡をされる方は、下記の学校メールアドレス、携帯番号に連絡をお願いいたします。

- 加茂中学校 52-0262
- 加茂中学校緊急携帯番号 080-1605-9258 (ショートメール可)
- 加茂中学校緊急メールアドレス 194704kamo@gmail.com

○第77回卒業証書授与式

3月5日(火)に第77回卒業証書授与式が行われ、3年生48名が加茂中学校を巣立っていきました。前日の雪で天気が心配されましたが、雲の隙間から日差しが届く中での卒業式でした。3年生は、学校生活や部活動、学校行事などで加茂中学校の模範となるような活躍を随所に見せてくれました。卒業後はいよいよ2年生が加茂中学校の顔としての活動が本格的に始まります。卒業生が築いてきた加茂中の伝統をさらに高められるよう、2年生の活躍に期待しています。

◇校長式辞 校長 井狩 歩

皆さんは、三年前。この加茂中学校に入学しました。コロナ禍により学校生活も大きな制限や制約があり、コロナ禍前の中学校生活を知りません。それでもコロナ禍で頑張ってきた先輩たちの意志を継ぎ、新たな発想と工夫で、学校行事や生徒会活動に挑戦し続ける、そんな学年でした。

今年度の生徒会スローガンは『笑久和来 感謝・創造・共助・飛躍』です。二大行事の体育祭・合唱コンクール、そして中学校区の小学六年生を加えて実施した「いじめ見逃しゼロスクール集会」の成功は、まさに新しい伝統の大きな一歩、前進となりました。また、地域貢献活動にも意欲的で、中でも、加茂中から地域に元気を届けようと、加茂市内の多数のイベントでKAMO坂21の演舞を行いました。今年度の生徒会は、3年生皆さんの頑張りで、生徒一人一人が元気に活動したり活発に話し合ったりし、加茂中が目指す「明るくたくましい 実践力ある生徒」のたくましい姿が随所に見られました。

いよいよこの加茂中学校を巣立ち、それぞれの道に進むこととなります。新たなステージに立とうとしている今、そんな皆さんに、メッセージを送ります。

それは、「人との出会いとつながりを大切にすること」です。これからの生活で様々な場面で多くの人との出会いがあると思います。出会いは縁です。その出会いを大切にしてください。人生の中で大切な出会いが二つあります。一つは、師と仰ぐ人、つまり師匠として尊敬する人との出会いです。何かを成し遂げる人の心には必ず、師と仰ぐ人の存在があります。「あの人のように…」と生きる指針ができるからです。そしてもう一つは、目標を共有できる仲間との出会いです。一人の力は、たかが知れています。仲間と協力することで大きな困難も乗り越えられるのです。出会いはチャンスです。出会った尊敬できる人の良さを学び、まねる。そして、仲間と支え合い、助け合い、互いに高め合えるそんな出会いを大切にしてください。今までをともに過ごした小・中学校の仲間が側にいなくても、次のステージでも心の中に思い出とともに一緒にいます。新たな出会いとつながりを大切に、更なる飛躍を期待しています。



◇PTA会長祝辞 田澤 茂一 様

卒業生の皆さん、三年間の中学校生活はいかがでしたか？おそらく、一瞬の光のように早く過ぎ去ったように感じているのではないのでしょうか。初めて加茂中学校に入学した時、緊張と期待に満ち溢れていた感情や、初めて出逢ったクラスメイトの緊張した表情も、今ではなじみ深い「笑顔」に変わったことでしょうか。

卒業生皆さん、三年間の学びの旅は終わりになりますが、その瞬間から新たな旅の始まりです。新しい旅立ちへ「人生が豊」になる大切なメッセージをお伝えしたいと思います。それは、「ありがとう」感謝の心を忘れずに未来へと歩んでほしい、ということです。「ありがとう」はただの言葉ですが、この言葉がもたらす効果は、人を幸せにし、感謝の気持ちを持ち続ける事で、より良い人間関係を築き自分自身も成長していけます。壁にぶちあたった時でも、感謝の気持ちを思い出すことで乗り越える力が湧いてくるはずですよ。「ありがとう」の効果は科学的にも幸せホルモンが活発になり、ストレス緩和にもなるそうです。実践を豊かにするにはポジティブ思考が大事です。「笑顔で感謝・ありがとう」を意識してみてください。先生方に「ありがとう」を伝えてみてください。皆さんと共に、愛をもって成長を見守り歩んで育ててくれたお父さん、お母さん、家族に「ありがとう」を伝えてみてください。人生は予測不可能な旅ですが、感謝の心は常に皆さんの羅針盤となるでしょう。

加茂中学校で築いた「絆」は、皆さんを支えこれからの未来への挑戦を乗り越える力になる事でしょう。そして、いつの日か皆さんが成長した姿で再会し加茂中学校での日々を懐かしむ事を楽しみにしています。皆さんの健康と幸せ、そして今後の成功を心より願っております。



◇送辞 在校生代表 坪谷 さら咲 さん

今、皆さんの心の中では、仲間と過ごした三年間の楽しい日々が溢れていることと思います。最高学年として全校をリードしてくださった皆さんの姿はとても頼もしく、心強いものでした。

全校生徒が心をつにし、三冠を目指した体育祭。皆さんの熱い思いが私達を巻き込み、太陽にも負けない熱い体育祭となりました。皆さんは、練習の時からリーダーシップを発揮され、引っ張ってくださいました。全力で競技に取り組み全力で仲間を応援する皆さんの姿は輝いていました。あの時の笑顔や涙は今でも忘れられません。

仲間とともに声をつにし、歌声を会場に響き渡らせた合唱コンクール。初めて皆さんの歌声を聞いた時、まとまったきれいな歌声に驚きと同時に私達の目標になりました。本番での歌声は、練習の時よりもレベルアップしていて会場の人達を魅了しました。

そして、何よりも楽しい時間を長くともにした部活動。まだ何もわからない私達に優しく丁寧に技術やマナー、礼儀などを教えてくれました。また、チームワークや部内の明るい雰囲気づくりといった非認知能力の大切さを行動で私達一・二年生に示してくださいました。

皆さんの学校生活や学校行事、部活動などでの行動や考え方は、まさしく今年度の生徒会スローガン「笑久和来～感謝 創造 共助 飛躍～」そのものでした。私は三年生の皆さんが積極的に様々な活動に取り組む姿をみて、憧れの気持ちを持ちました。

こうして三年生の皆さんとの思い出を振り返ると、私達の目の前には、いつも輝いていた皆さんの姿がありました。本日で皆さんが卒業されると思うと不安と寂しさが募ります。しかし、皆さんから学んだことを胸に、そのことを生かしながら在校生で力を合わせ、加茂中のさらなる発展に向けて頑張ります。

これから、皆さんはそれぞれの道への一步を踏み出します。その道を歩むのは簡単なことではなく様々な試練が待ち受けていることと思います。そんな時は、加茂中で過ごした三年間の日々を思い出してみてください。きっとその思い出は試練を乗り越える大きな力になることでしょう。

今まで私達全校生徒のリーダーとして支え、助けてくださり本当にありがとうございました。皆さんと過ごした時間がとても楽しく、ずっと忘れられない思い出です。これからも応援しています。



◇答辞 卒業生代表 安達 煌栄千 さん

本日は、私たちのために、素晴らしい卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。先程より皆様から頂いた数々の言葉を胸に、私たち四十八名は、本日卒業します。

様々な行事の中でも特に思い出に残っているのが、体育祭です。今年度の体育祭は、雨の日が多く、グラウンドでの練習がなかなかできない日々が続きましたが、各リーダーを中心に、三年生をはじめ、在校生の皆さん一人一人が自分の役割を自覚し、各軍が心をつにして全力でぶつかり合い、素晴らしい応援合戦を繰り広げることができました。先生方に、「君たちにしかできない最高の体育祭だったよ」と言っていただき、一緒に頑張ってくれた全校のみんなへの感謝の気持ちと誇らしさで胸がいっぱいになりました。

そして、合唱コンクールも思い出に残っています。三年生、どちらのクラスも気持ちを込めて練習に励みました。学年合唱の「モルダウ」も気持ちを一つに歌いました。私は、合唱コンクールの実行委員をしていましたが、私が何も言わなくても、真剣に練習に参加してくれ、難しい曲も心をつに美しいハーモニーを奏でることができたことが大変うれしかったです。(中略)

思い返せば、中学校生活の中の、嬉しい喜びの瞬間も悔しく苦しい瞬間も、いつも側に仲間がいて、支え合い、分かち合ってきたからこそ、苦しみを乗り越えて得られた喜びが、とても尊く、愛おしい時間だったと感じます。ワクワクに満ちた素晴らしい中学校生活を過ごすことができたのも、今この場にいる、全ての皆様のおかげです。

保護者の皆様、これまでの十五年間、私たちを大切に育て、支えてくださって、本当にありがとうございました。思春期真っ只中の私たちは、時に素直になれないこともありますが、心の底では、いつも感謝の気持ちでいっぱいでした。大人として自立するまでまだもう少しの時間があります。これからも私たちの一番の理解者として、近くで応援してください。そして、いつも私たちの心に敏感に寄り添ってくれた先生方。本当にありがとうございました。素晴らしい先生方に巡り合うことができ、こうして充実した中学校生活を過ごせたことは、私たちの一生の財産となりました。在校生の皆さん、私たち三年生と様々な行事や活動を一緒に作り上げてくれて、本当にありがとうございました。加茂中学校の益々の発展を祈っています。



○2年生修学旅行

3月6日(水)～8日(金)、2年生が関西方面に修学旅行に行ってきました。3日間とも天候に恵まれ、良い思い出を作ることができました。旅行中は、全員が怪我・病気・事故なく過ごし、また、添乗員さんの話をよく聞き、適切な行動ができていました。修学旅行を通して一回りたくましくなったように感じました。



出発式



清水寺



USJ



東大寺



建仁寺(座禅体験)



薬師寺(法話)

○お世話になりました

令和5年末の異動により6名の職員が転出いたします。今まで大変お世話になりました。

氏名	転出先	氏名	転出先
教諭 星 亨	加茂市立須田中学校	養護教諭 眞野 愛梨	三条市立第一中学校
教諭 五十嵐直樹	阿賀野市立京ヶ瀬中学校	栄養主査 本間 史子	弥彦村立弥彦小学校
教諭 田中 修平	新潟市立鳥屋野中学校	調理員 井上ヒデ子	退職

◇4月の予定◇

4月 8日	(月)	新任式・始業式	19日	(金)	PTA理事会・評議員会
9日	(火)	入学式	25日	(木)	1年生正式入部
10日	(木)	身体計測	30日	(火)	オープンスクール PTA講演会